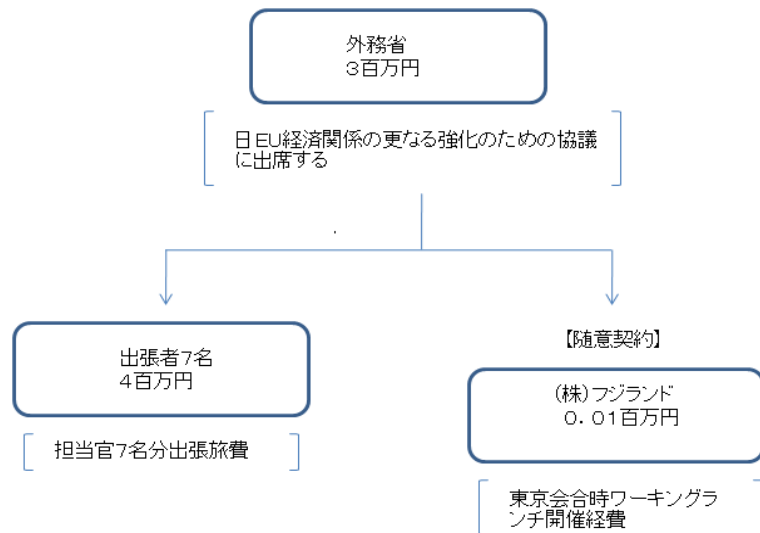


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日・EU経済関係強化に関する会合	担当部署	経済局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始 平成24年度から日・EU経済連携・規制改革等に関する協力対話へ統合予定	担当課室	欧州連合経済室	室長 児玉 良則			
会計区分	一般会計	施策名	国際経済に関する取組に必要な経費				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項	関係する計画、通知等	第18回日・EU定期首脳協議における共同プレス声明				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日・EU経済関係の最大限の潜在的可能性をより良く活用するために、両経済の統合の強化を図ることを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日・EU経済関係の更なる強化のため、日EU間及び日・加盟国間でその方途を模索すべく間断無き協議を継続する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	4	3	3	-
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	4	3	3	-
	執行額		-	3	4	-	-
	執行率(%)		-	69.7%	134.5%	-	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	日EU・EPAに向け関係強化のため、日EU合同ハイレベル・グループによる共同検討作業を行った他、日EU経済閣僚会合や日EU定期首脳協議を行った。 現在は政治レベルを含めた各種協議を行ってEPA交渉開始に向けた働きかけを行っている段階。 成果指標はEPA締結に向けたプロセスの実績。実績としては、定期首脳協議の際に発出された日EU双方の首脳による共同プレス声明、EPAについての「交渉のためのプロセスを開始することに合意」することを盛り込むことが出来、可能な限り早期にEPA交渉の範囲と野心のレベルを定めるスコーピングを実施することにも合意出来たところ、早期のEPA交渉開始合意に向けて大きな成果があったといえる。	成果実績 回	-	1	6	2	
	達成度 %	-	100	300	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	ブリュッセルにて3回、東京にて3回、計6回の会合実施。	活動実績 (当初見込み) 回/年	-	1	6	-	
単位当たりコスト	(614,491円/1人) (12,000円/1回)	算出根拠	ブリュッセルにおける3回の会合出張費総額(3,686,948円/6人) 東京における3回の会議費の総額(12,000円/1回)(2回分については別案件で同時開催)				
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	旅費	2,678	0	日・EU経済連携・規制改革等に関する協力対話へ統合			
	会議費	264	0				
計	2,942	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	出張日程作成、フライト選定にあたっては、なるべく航空運賃を安く抑えることが出来るよう検討している。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		日・EU経済連携・規制改革等に関する協力対話へ統合	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(日・EU経済連携・規制改革等に関する協力対話へ統合)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.出張者7名			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	出張旅費	4.0			
計		4.0	計		0.0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	ブリュッセルでの会議参加旅費	0.7	随意契約	
2	出張者B	ブリュッセルでの会議参加旅費	0.7	随意契約	
3	出張者C	ブリュッセルでの会議参加旅費	0.4	随意契約	
4	出張者D	ブリュッセルでの会議参加旅費	0.7	随意契約	
5	出張者E	ブリュッセルでの会議参加旅費	0.6	随意契約	
6	出張者F	ブリュッセルでの会議参加旅費	0.6	随意契約	
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)フジランド	ワーキングランチ開催経費	0.01	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					